

小金井市 岡田 さわ子(69)

「ごま子が逝き一年と少し過ぎました。九月一日、「ごま子、父さんが又登山に行くよ守つて頂戴ね」と、祈りました。

一年前の九月二日登山出発の朝のこと、立ち上る事すら出来ない程弱ったごま子が、「ギヤー」と声にならぬ様な声を出し倒れ乍ら、朝食を取つてゐる夫の元に来ました。床に倒れ苦しそうな息、しぶり出す様な声でニヤーと。温かい胸が大きく揺れ、その胸に手を当てると、コトコトと心音が伝わりました。

「ごま子良く來たね、苦しいね」と。すると胸が静かになり心音が消えました。父さんにありがとうが言つたかったのね。登山出發前の出来事でした。

まだ暖かいごま子を抱っこし、夫を見送りました。まだ六才のごま子、早い別れです。苦しいのに、良く別れを言いに来てくれました。

ありがとう!!

金と銀の目、真つ白なごま子。

少しありました。黒ごまみた

んの少しありました。黒ごまみた

いね。取り敢えずごま子、名前が

決まるまで。

軽い気持ちで「取り敢えずごま子」と呼んでいるうちに、いつの間にか黒い毛が消えてしまいまして。そしてしつかり「ごま子」と、呼ぶ様になつてしまひました。

小さい時から抱っこで、野川を散歩しました。じつと抱っこされているごま子が、はけの道の階段の下まで来ると、「自分で帰れるよ」と、ピョンと飛び降り階段をかけ上り、走りに走り、追いかける私を、門の前で待つておりました。かわいい子でした。一年が過ぎやつと思い出を書くことが出来ました。とり敢えずごま子。ごま子ちゃんありがとう!! 母さんより

惠院を訪ねる。八月十五日の終戦記念日である。暑さきびしい日ではあつたが多くの参拝者がおり、恐らくペットたちも喜んでいるであろう。

想いおこせば私が最初に飼つた動物は犬であり、小学校四年の時であつた。しかし、父の死去、戦争の激化、敗戦、社会の混乱などにより、昭和四十年頃まで、ペットとの共同生活はなかつた。(理由は戦後のきびしい社会状況、アパートでの一人暮し)ある時、小学生の娘の友人より犬を購入して欲しいとの依頼。当時、一月分の給料を全て当てた。ホイペットと称する競走犬である。以来今日まで五十年。犬猫のペットと共同生

しかし、七十歳を過ぎ、仕事から解放され、在宅時間が多くの人とペットとの交流が一層多くなる。それだけ愛情が深まるといえよう。

平成二十一年八月二十日に旅立つた桃太郎(14才)と二十四年六月二十七日にこの世を去つた愛(17才)

は兄妹である。我が家で誕生、一生わが家で生活した二頭である。

朝・夕の一時間近くの散歩が私の家庭生活の最大の仕事であつた。それだけ二頭とも私のいうこと良く聞いてくれたペットである。

妻を亡くした私にとっては、最も身近な家族の一員であつた。

二頭がいなくなつた時、二度とペットは飼育しまいと思つてはいたが、娘が毎日の生活を豊かに充実したものにするにはと考えたのである。ボストン・テリヤ(桃次郎)とトイ・プードル(ナナ)の誕生三ヶ月足らず二頭を購入してくれたのが昨年初頭である。

ペットと共に五十年

匿名(85)

一年振りにペットに会いに慈

恵院を訪ねる。八月十五日の終戦記念日である。暑さきびしい日ではあつた多く参拝者がおり、恐らくペットたちも喜んでいるであろう。

平成二十一年八月二十日に旅立つた桃太郎(14才)と二十四年六月二十七日にこの世を去つた愛(17才)

は兄妹である。我が家で誕生、一生わが家で生活した二頭である。

朝・夕の一時間近くの散歩が私の家庭生活の最大の仕事であつた。それだけ二頭とも私のいうこと良く聞いてくれたペットである。

妻を亡くした私にとっては、最も身近な家族の一員であつた。

二頭がいなくなつた時、二度とペットは飼育しまいと思つてはいたが、娘が毎日の生活を豊かに充実したものにするにはと考えたのである。ボストン・テリヤ(桃次郎)とトイ・プードル(ナナ)の誕生三ヶ月足らず二頭を購入してくれたのが昨年初頭である。

再びペットとの共同生活が始ま

り、充実した日々を送つてゐる

八十五才の老人である。

動物の靈が 守つてくれている

野坂獣医科 院長 野坂 宏

んが具合が悪くなつたので、直ぐに病院に連絡取る様に言われたそうです。親戚に、急に入院している猫の具合の人から電話があつたとのことでした。

飼主さんは、翌朝急遽戻つて来られ、マリちゃんを、慈恵院に連れていかされました。夕方、中越地震があり、交通網も遮断され、電話連絡も出来なくなつていきました。

翌日、落ち着いたので挨拶にみました。私は、飼主さんとなかなか連絡が取れなかつたのに、どうして連絡がとれたのか不思議だと、お話ししました。たら、飼主さんも驚かれていました。ひょっとしたら、マリちゃんが電話したのかと思いました。女人から電話があつたところで、見守られながら、命ある動物たちを診察して行くつもりです。

私は、飼主さんとなかなか連絡が取れなかつたのに、どうだと思いました。

私も、古希を一つ越えた年になりました。平櫛田中

さんは言われる様に、まだまだはなたれ小僧です。これまでからも沢山の動物の靈に見守られながら、命ある動物たちを診察して行くつもりです。

内が実家の新潟に行くことになつっていました。しかし、急に入院している猫の具合が悪くなり、新潟行きは中止。

内が実家の新潟に行くことになつていました。しかし、急に入院している猫の具合が悪くなり、新潟行きは中止。

おとこ百から
はなもみを
六十七十は
はなたれ小僧
せくな 急ぐな
来世もあるよ

平櫛田中

重症な感染症に罹り、多く
の動物は、慈恵院の山門を
くぐつて行きました。今は、
高齢の動物達が、命をまつ
とうしています。

三十年前、飼主さんが、
田舎で、法事があるという
ことで、高齢のボメラニアン、
マリちゃんを預りました。
マリちゃんは、急に心不全
が悪化し、亡くなりました。
飼主さんとの連絡先をうか
ついれば、長寿犬として表
ていまし。夕方になり、
の暑さもあり、途方にくれ
ていました。夕方になり、
そのとき思つたものです。

飼主さんから、田舎の親戚
のこと、当日午後から、家

T革命もあり、医学の技術
の進歩は、ものすごいもの
です。かつて、若年動物は、

又、中越地震があつた時

健康チラフ

花粉症

ながた内科クリニック

院長 永田 宏

TEL〇四一三六九〇七〇七

花粉症は、植物の花粉が引き起こすアレルギー疾患です。原因植物は50種類以上ありますが、日本では花粉症全体の約70%をスギ花粉症が占めています。患者さんは年々増加しており、子どもにも増えてきています。一度花粉症を発症すると、毎年繰り返すようになります。発症を予防し、重症化を防ぐには、花粉の飛散が始まる前からの予防対策が肝心です。

●花粉が引き起こすアレルギー疾患

花粉症は、植物の花粉が引き起こす季節性のアレルギー疾患です。最も患者数が多いのは、1月下旬～4月にかけて花粉が

飛散するスギ花粉症ですが、3月～5月にはヒノキ、8月～10月にはキク科のブタクサやヨモギ、イネ科のカモガヤなど、花粉症の原因植物は50～60種類あるといわれます。アレルギーは、本来は体に有害な異物を排除して体を守る「免疫」によって起ります。風に乗つて飛散する花粉が鼻や目、のどの粘膜などを異物（これを抗原といいます）と認識し、免疫の働きで追い出そうとします。この反応が過剰に起き、さまざまな症状が引き起こされた状態がアレルギーです。

花粉症は、毎年花粉に接触しているうちに、ある年突然発症します。現代人は、食物や環境の中のさまざまな抗原に対してもアレルギーになりやすいといわれ、花粉症も小さな子どもから高齢者まで幅広い年齢層で見られます。

●くしゃみや鼻づまりに目のかゆみを伴え吧



花粉症で困っていること、抑えたいたい症状を医師に伝えましょう

鼻水、鼻づまり、目のかゆみです。

このほか、のどの痛みやかゆみ、頭痛、微熱などが見られることがあります。症状は、かぜといわれます。アレルギーは、

花粉症の主要な症状は、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみです。このほか、のどの痛みやかゆみ、頭痛、微熱などが見られることがあります。症状は、かぜといわれます。アレルギーは、飛散するスギ花粉症ですが、3月～5月にはヒノキ、8月～10月にはキク科のブタクサやヨモギ、イネ科のカモガヤなど、花粉症の原因植物は50～60種類あるといわれます。アレルギーは、

花粉症の飛散時期に現れたら、花粉症を疑つて医療機関で診断してもらいましょう。また、目のかゆみは、かぜと判別するひとつのがんばりあります。症状が重くなると、頭がボーッとして集中力がなくなつたりして、仕事や勉強など日常生活に支障が出てきます。特にスギ花粉症の時期は、受験や新入学、就職、異動などの時期と重なりますので、早めの対応が肝心です。小さな子どもの場合は、自分で症状をうまく説明できません。熱はないのにくしゃみや鼻水が止まらない、口呼吸をしている（鼻がムズムズする）、しきりに目をこする（目がかゆい）などが見られたら花粉症かもしれません。

●症状が出たら早めに検査を

花粉の飛散時期に症状が出たら、早めに受診して検査してもらいましょう。

鼻鏡検査 鼻粘膜のむくみや炎症など、鼻の中の状態を調べます。
好酸球数測定 好酸球は白血球のひとつで、アレルギーがあると増加します。血液や鼻汁中の好酸球数を調べることで、重症度もわかります。

特異的IgE抗体検査

抗原（花粉など）が体内に侵入すると、その抗原だけに結びついて排除す

ことわざの意味

(表) 角の形を直そうと無理に曲げて、かえって牛を殺してしまう。

(裏) わずかな点を直そうとして度がすぎ物事を台無しにする。 (8)

る抗体という免疫たんぱくがで
きるので、血液中の抗体の種類
と量を調べて、アレルギーを起
こしている原因物質を特定します。
●皮膚テスト・鼻誘発テスト 皮
膚や鼻の粘膜に花粉エキスをつ
けて、その反応から判定します。

●内服の初期療法が有効 新しい減感作療法も

花粉症の治療は、アレルギー
を抑える内服薬や点鼻薬、点眼
薬を用いる対症療法が中心です。
作用の異なる薬が多種類あり、
症状や重症度に応じて適切に使
い分けて、症状の出現を抑えたり、
軽減させることができます。毎年、
症状に悩まされる人は、花粉が
飛び始める前から内服を始める
初期療法(季節前投与)が効果的
です。鼻づまりが特に強い人には、
鼻粘膜をレーザーで焼いて花粉
の侵入を阻止する下鼻甲介粘膜
焼灼術があります。花粉の飛散
がない時期に行い、効果は5~
10年持続するといわれています。
なお、市販の点鼻薬には注意し
てください。医師が処方する、
鼻粘膜の炎症を鎮めて鼻づまり

を改善する鼻噴霧用ステロイド
薬と違い、多くは鼻粘膜の血管
を収縮させて(血管収縮薬)、鼻通
りをよくする薬です。即効性が
高く、一時的には楽になりますが、
また鼻がつまります。漫然と使
っていると鼻粘膜が肥厚し、鼻
治療も難しくなります。対症療
法に対しても、アレルギーそのも
のに働きかける治療が根本療法
です。代表的な治療が減感作療
法(抗原特異的免疫療法)で、抗原
のエキスを低濃度から注射など
で体に入れ、少しづつ濃度を上
げて体を抗原に慣れし、アレル
ギーを起こさないようにします。

減感作療法は、これまでスギ花
粉症に対して皮下注射で行われ
ていましたが、2014年に、
舌下からスギ花粉エキスを吸収
させる舌下免疫療法が実用化さ
れました。花粉症は一度発症す
ると、毎年症状を繰り返します。
花粉の飛散に備えた早めの対策
とセルフケアで、花粉シーズン
を快適に乗り切りましょう。

セルフケアで花粉をシャットアウト!

日常生活の中で花粉を避けることが花粉対策のポイントです

●花粉情報を毎日チェック
花粉症シーズンには、テレビや
ラジオ、新聞、インターネットな
どで最新の花粉の飛散情報を伝
えているので、毎日チェックしま
しょう。

●外出にはマスク、メガネ(ゴー
グル)、帽子を忘れずに
目、鼻、口は花粉の最大の侵入
口。マスクは鼻、口から入る花粉
を1/3以上カット。メガネは目
から入る花粉を1/2以上カット
します。花粉用のマスクやメガネ
なら、さらに効果的です。

帽子は髪に花粉が付着するのを
防ぎます。

●うがい、手洗い、洗顔、洗頭
外出から帰ったら、まずは花粉
を洗い流しましょう。

●家に入る前に花粉を落とす
外出から帰ったら、ドアの外で
衣服や髪についた花粉を払い落
としましょう。



●ごまめに掃除
屋内の花粉やハウスダストを
ごまめに除去しましょう。空気
清浄器の性能が落ちないように
定期的にフィルターの掃除をし
てください。

●洗濯物、布団は外に干さない
花粉が飛散する時期には、ふ
とんや洗濯物を屋外に干すのは
控えましょう。

●粘膜の抵抗力を落とさない
過度の飲酒や夜更は鼻やのど
の粘膜を刺激し、抵抗力を落と
すので控えましょう。
ストレスをためず、規則正しい
生活、バランスのよい食事、
十分な睡眠を心がけましょう。

●ペットの毛にも要注意!
犬や猫などペットの毛にも花
粉は付着します。ごまめにブ
ラッシングして花粉を落としま
しょう。このとき、メガネやマ
スクの着用を忘れずに。

●飛散量の多い日は窓を開める
屋内に花粉が入ってこないように、飛散量の多
い日は窓は開け放さず、換気口も閉めましょう。

●花粉がつきにくい衣類を着用
花粉がつきにくいポリエステルなどのツルツル
した化学繊維素材の衣服を着用しましょう。

(表) ことわざの意味

(表) コマが十分廻ったあげく、倒れてしまう。



(27.9.23 合同法要)

彼岸法要会



作文募集



- 住所・氏名・年齢・電話を明記し、慈恵院編集部宛お送り下さい。
- 掲載は随時とさせていただきます。

- 応募作品は返却いたしません。
- ペットとの思い出、出来事など作文にしてお寄せ下さい。(800字以内) 尚、作文には題名を必ずご記入下さい。

●本山：東京都府中市浅間町2-15-1 〒183-0001
TEL.042-365-7676 FAX.042-336-3888
URL <http://www.jikeiin.jp>

●足立別院：東京都足立区加平1-14-3 〒121-0055
TEL.03-3628-7676 FAX.03-3628-7679

印刷所	慈 惠	冬 季 号	No. 53
発行所	平成二十七年十二月一日	発行	
編集者	乙未霜月下浣		
発行者	永 田 恵		
編集者長	岡 天 佑 堂		
発行所	一八三一〇〇一		
宗教法人	府中市浅間町二丁十五十一		
○四二一三六五七六七六	○四二一三六一五二二二		
○四二一三六一五二二二	○四二一三六一五二二二		
山二印刷有限公司	府中市浅間町三十四十九		
山二印刷有限公司	○四二一三六一五二二二		

福島県大玉村とペルーのマチュピチュ村（遺跡で有名）が友好都市協定を結んだ。約百年前の日本人移民、野内与吉氏（大玉村）の功績によるという。。。久しぶりに心温まるとともに日本人であることに誇りを感じたひとときでした。
健康コーナーでは「花粉症」をとりあげていただきました。早めの予防を。
末筆ながら皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

編集後記